

平成26年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	信濃川治水歴史巡り	事業経緯	継続	実施体制	協力	担当所属	新潟支所
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	広報・啓発活動支援事業		事業区分	体験活動等	

1. 事業目的

越後平野を貫流する信濃川は昔から洪水を繰り返し、その被害の痕跡は今も地域に残っている。また、信濃川下流域には、川と共存するための智恵や工夫の様子、治水を志した先人たちの業績を記した史跡等も多く残されている。こうした信濃川の洪水や治水に関する史跡等をめぐり、治水に関する歴史や育まれてきた文化を学び、理解の深化や洪水等に対する防災意識の高揚を図ることを目的とする。

2. 事業実施体制

主催：国土交通省信濃川下流河川事務所・信濃川河川事務所
 協力：(一社)北陸地域づくり協会、北陸建設振興会議NPO研究委員会

3. 事業実施概要

- 開催日時
平成26年10月18日(土) 8:30~17:00
- 告知方法
・「新潟市中央区だより」(H26.9.21版)掲載
・新潟市内の各区、資料館・博物館等にチラシ配布
・主催団体ホームページ
- 参加人数
34名(応募50名より抽選36名)
- 行程
川越の御名号(旧河口推定地)ー鳥屋野潟排水機場ー黒鳥囲い土手
ー曾川切れ記念碑ー天野瀬替えー和田切れー酒屋の鮭と川港
ーまわり土手ー五反田移民碑ー横田破堤記念碑ー横田諏訪神社
ー信濃川大河津資料館・可動堰・分水路(夕ぐれの岡、第二床固、副堰堤等)
ー野積の水田ー樋曾山隧道ー宝光院(本堂に残る横田切れ跡)
- 講師(解説員)
・五百川清氏(元信濃川大河津資料館長)
・信濃川下流河川事務所・信濃川河川事務所職員 等

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

平成17年から継続しており、今回で10回目。定員を上回る申込みがあったが、厳正なる抽選で当選者を決定。当日は天候に恵まれ、参加者は皆熱心に見学し、講師の説明を聞きメモをとる姿も見られた。
 越後平野は水との関わり抜きには語れず、とかく希薄になりがちな地域の成り立ちや防災への意識を啓発するこうした取り組みは重要である。終了後に回収したアンケートでは、「治水は人の歴史。先人の知恵や苦労を改めて勉強できた」「大河津分水のことは知っていたが現地見学と説明でより具体的に理解できた」「有意義な旅だった。また参加したい」等々の感想が寄せられ、参加者への趣旨の浸透が確認できた。



赤洪防災ステーション



大河津分水 堰操作室



大河津分水可動堰



宝光院(新潟市西区)